

夢洲における物流交通対策について

空コンテナ返却場所一時移転、ターミナルゲート時間延長については、夢洲周辺交通のピーク時を対象として、万博開催期間中だけでなく、工事期間中の実施に向けて港湾関係者と調整を実施していく

青字：これまでの取り組み
赤字：今後の取り組み

②車両待機場の整備

(500台分追加整備し、700台分確保)

- ・ 240台分 **済**
- ・ 260台分(暫定)



- ・ 令和5年10月 80台分供用予定
- ・ 令和6年12月 180台分完成予定であるが、前倒しを検討中

③ターミナルゲート時間延長

(30分で最大200台分散)



(通常) 平日：8:30～11:30, 13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

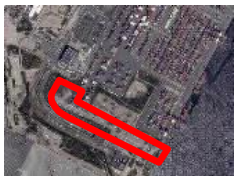
- ・ 今後、実施時期等について港湾関係者と協議

④荷捌き地の拡張 (ゲート増設)

(ゲート前待機スペース100台分確保)

(ゲート増設(17→22ゲート)により、1時間当たり120台削減)

- ・ 荷捌き地の拡張は、令和5年度末に完成予定
- ・ 増設ゲートは、令和6年度中に運用開始予定であるが、今後、ターミナル事業者へ早期整備について要請



(写真はイメージ)

①COMPAS(※)の導入

(ゲート処理時間の短縮等)

- ・ 令和4年1月～令和5年8月に、試験運用を5回実施
- ・ 令和5年度中の本格運用をめざす (※) Container Fast Passの略

⑤咲洲へシフト (空コンテナ返却場所一時移転)

- ・ 令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施
- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施
- ・ 今後、実施時期等について港湾関係者と協議

②車両待機場の整備 **済**

(150台分 追加整備)

⑤咲洲へシフト (空コンテナ返却場所一時移転)

- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施
- ・ 令和5年1月にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手
- ・ 今後、実施時期等について港湾関係者と協議



車両待機場の整備・荷捌き地の拡張(ゲート増設)について

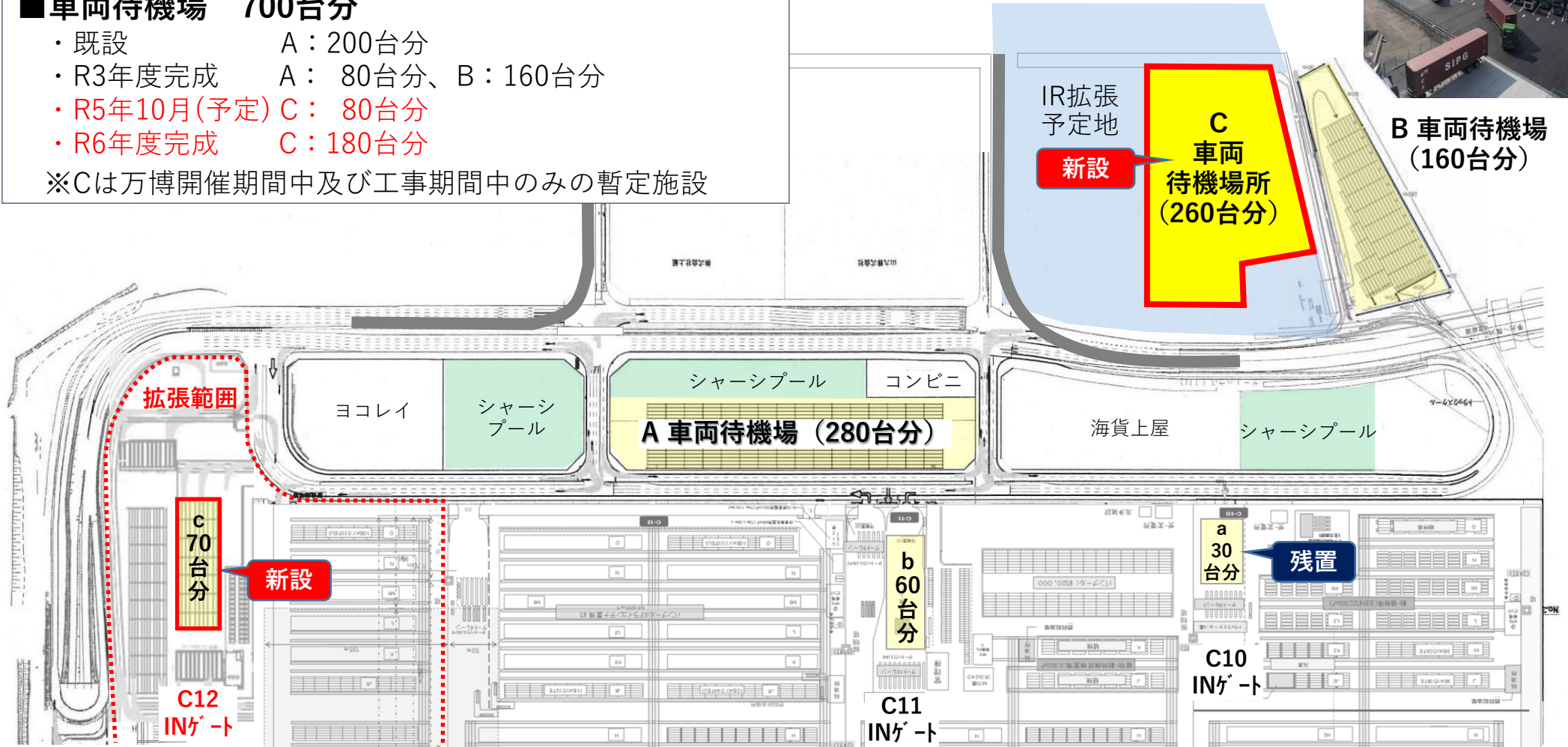


B 車両待機場
(160台分)

■車両待機場 700台分

- ・ 既設 A : 200台分
- ・ R3年度完成 A : 80台分、B : 160台分
- ・ R5年10月(予定) C : 80台分
- ・ R6年度完成 C : 180台分

※Cは万博開催期間中及び工事期間中のみの暫定施設



④荷捌き地の拡張 (ゲート増設)

※INゲート前待機スペース : 90台分⇒160台分 (当初、aは撤去予定であったが、残置に変更 (a残置+c整備=100台分))

※INゲート数 : 17ゲート⇒22ゲート